

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構

外国人児童生徒教育 推進ユニット



2024年8月21日

2024年度 オンライン研修 「多様性が活かせることばの教育」

研修A

「文化間移動をする高校生 の日本語指導」

第3回 社会参加のための力を育む 日本語指導

趣旨説明

研修A 「文化間移動をする高校生の日本語指導」

研修A全体の趣旨

文化間移動を経て、多様な言語的文化的背景をもつ高校生が、その多様性と、それまでに培ってきた力や経験を発揮しながら社会に参画し、キャリアを開拓していくためのことばの力を育む教育について学びます。「特別の教育課程」による日本語指導の制度についての理解、制度を活用した外国人生徒等のための指導計画、指導・支援の内容構成を検討します。そこには、日本語はもちろん、教科等の学習、母語・母文化の獲得や多文化共生、そして、進路選択や自己実現のための教育・支援が含まれます。外国人生徒等が直面する問題・課題場面を想定し、具体的な事例とともに理解を深めましょう。

2024年度 研修A 第1回・第2回

第1回 6月6日	第1回 進路選択で重視される「日本語の力」—日本語能力試験へのチャレンジ—
	<p>高等学校卒業後の進路選択で、生徒が「日本語の力」を公的に示すための戦略として、日本語能力試験(JLPT)へのチャレンジについて検討。JLPT受験に向けた日本語指導を「個別の指導計画」に位置づけ、教科学習・社会参加のための教育・支援活動とを関連付けた実施について提案。試験のために日本語の知識を学ぶことに留まらず、教科等の学習に関連付け、運用し問題解決する力の向上のための学習として実施することを示唆。</p> <p>「特別の教育課程」による日本語指導の実施校として、東京都立砂川高等学校(定時制)の取り組みについて、高嶋みゆき先生・綾野舞先生より報告。</p>
第2回 7月7日	第2回 キャリア開拓のための日本語指導
	<p>文化間移動をする高校生が、日本社会で主体的に進路を選択しキャリアを開拓するためのことばの力を、職業的専門性に関連付けて検討し、その日本語指導の内容構成や授業展開を具体的に提案。</p> <p>例として、「調理師専門学校への進学」「介護関連職への就職」を希望する場合</p> <p>「特別の教育課程」による日本語指導の実施校として、群馬県立太田フレックス高等学校の取り組みについて、佐藤創先生より報告。</p>

本研修用動画の内容は、本学が受託した文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」（令和4年・2022年度）の二つの成果物に基づいています。詳細は、直接アクセスしてご覧ください。

『高等学校における外国人生徒等の受入れの手引』

高等学校における外国人生徒等の受入れの手続き、日本語指導の仕組み、支援体制作りに関する考え方や事例、そして関連する情報で構成しています。

https://kodomonihongo.u-gakugei.ac.jp/.assets/M22_koko_nihongo_tebiki.pdf

『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』

日本語指導、教科指導・教科学習支援、キャリア教育、多文化共生教育に関し、具体的な内容構成や実施方法を提案します。本事業で実施した調査を通して収集した具体例や実践・取り組み事例、また、関係者の声なども採録しています。

https://kodomonihongo.u-gakugei.ac.jp/.assets/M22_koko_nihongo_guideline.pdf



研修A

「文化間移動をする 高校生の日本語指導」

第3回

社会参加のための
ことばの力を育む
～社会に関わり続け、
問題を解決するために～

齋藤ひろみ・小西円（東京学芸大学）
市瀬智紀（宮城教育大学）

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構

外国人児童生徒教育 推進ユニット



第3回 社会参加のための力を育む日本語指導

外国人生徒等は、共生社会の一員として、日本のこれからを形成する存在です。では、かれらは、取り巻く社会で、自身の文化間移動の経験とその多様性を活かして自己実現するために、どのような力を育むことが必要なのでしょうか。

社会との相互作用を通して自身の可能性に気づき、生涯にわたって持続的に能力を開発する自律性が重要ですし、そのためにもことばの力は重要です。市民性を育み、多様性に開いた、見通しのよい民主的社会を形成する一翼を担ってほしいとも願います。

そこで、第3回研修では、文化間移動する高校生が、多様な他者とともに複雑化する現代社会（日本）に関わり続け、問題を解決するための力を、高等学校の様々な教育活動を通じて高めることの重要性と、その活動への参加の過程でどのように日本語の力を育成することが可能なのかを検討します。その実践事例として、荒井学園高岡向陵高等学校における日本語の授業の取り組み例を青木由香先生に紹介いただき、皆さんにも話し合いをしていただきます。

また、「特別の教育課程」による日本語指導の実施校として、北海道函館工業高等学校（定時制課程）の鈴木悟教頭先生、前田哲也先生に、取り組みの実際をご報告いただきます。

第3回 研修A プログラム

10:00-10:10 開会

10:10-11:15 社会参加のための力を育む日本語指導

講義 東京学芸大学 齋藤ひろみ・小西円、宮城教育大学 市瀬智紀

実践事例の報告(15~20分)

荒井学園高岡向陵高等学校 講師 青木由香

ケースを巡る話し合い(10分程度)

11:15-12:00 「特別の教育課程」による日本語指導実施校の報告

北海道函館工業高等学校 教頭 鈴木悟、教諭 前野哲也

12:00-12:25 交流

12:25-12:30 閉会

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構

外国人児童生徒教育 推進ユニット

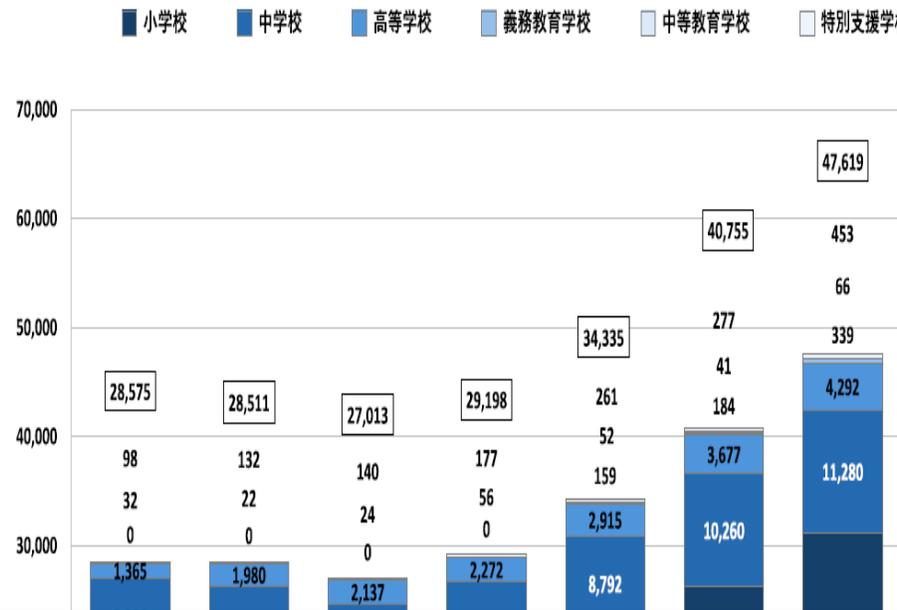


高等学校における 日本語指導が必要な生徒 日本語指導の実施状況

文部科学省令和6年8月
「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する
調査結果(令和5年度)」より

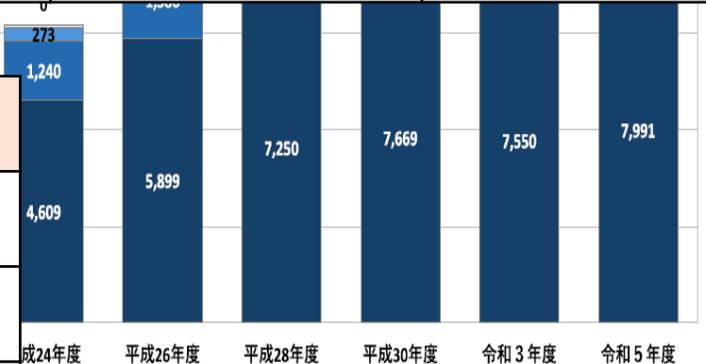
(1) 日本語指導が必要な児童生徒数

1-1. 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数



	外国籍生徒	日本国籍生徒	計
小学校	38,141人	7,991人	46,132人
中学校	13,369人	2,598人	15,967人
高等学校	4,991人	582人	5,573人
義務教育学校	527人	84人	611人
中等教育学校	75人	37人	112人
特別支援学校	615人	113人	728人
計	57,718人	11,405人	69,123人

高校生	外国籍		日本国籍	
	生徒数	学校数	生徒数	学校数
令和3年度	4292人	558校	526人	218校
令和5年度	4991人	556校	582人	240校



(2) 高等学校における「特別の教育課程」による 日本語指導の実施状況

		生徒数		学校数	
外国 籍生 徒・学 校	日本語指導が必要な生徒	4,991人		556校	
	特別な配慮に基づく指導を受けている生徒	3,808人	76.3%	459校	82.6%
	上記のうち「特別の教育課程」による指導を受けている生徒	209人 全日制 65人 定時制144人 通信制 0人	5.5%	31校 全日制13校 定時制19校 通信制 0校	6.8%
日本 国籍 生徒・ 学校	日本語指導が必要な生徒	582人		240校	
	特別な配慮に基づく指導を受けている生徒	460人 (海外帰国生徒 198人)	79.0%	185校	77.1%
	上記のうち「特別の教育課程」による指導を受けている生徒	26人 全日制 5人 定時制21人	5.7%	11校 全日制3校 定時制8校	5.9%

(3) 進路

① 進学率

	高等学校等を卒業した生徒数		高等学校等を卒業した後大学や専修学校などの教育機関等（※5）に進学等した生徒数		進学率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等	1,010	951	471	493	46.6%	51.8%
全高校生等	668,892 (※6)	712,927 (※7)	501,533 (※6)	523,223 (※7)	75.0%	73.4%

② 就職者における非正規就職率

	高等学校等を卒業した後就職した生徒数		高等学校等を卒業した後非正規又は一時的に就職した生徒数		就職者における非正規就職率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等 (全日制・定時制・通信制高校及び中等教育学校後期課程のみ)	352	228	136	89	38.6%	39.0%
全高校生等 (全日制・定時制高校及び中等教育学校後期課程のみ)	115,091 (※6)	134,965 (※7)	3,566 (※6)	4,401 (※7)	3.1%	3.3%

(4) 進学・就職をしていない者、中途退学者

③ 進学も就職もしていない者の率

	高等学校等を卒業した生徒数		高等学校等を卒業した後 進学・就職（・帰国）していない 生徒数（不詳、死亡は除く）		進学も就職も していない者の率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等	1,010	951	119	128	11.8%	13.5%
全高校生等	668,892 (※6)	712,927 (※7)	43,803 (※6)	45,777 (※7)	6.5%	6.4%

④ 中途退学率

	在籍している生徒数		中途退学した生徒数		中退率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等 (特別支援学校の高等部は除く)	4,335	3,931	370	264	8.5%	6.7%
全高校生等 (特別支援学校の高等部は除く)	1,999,163 (※1)	2,132,224 (※2)	22,631 (※3)	20,283 (※4)	1.1%	1.0%

外国人児童生徒教育 推進ユニット



社会参加のための力を育む 日本語指導

テーマ設定の意図を、ストレートに言えば、
安全に 心身ともに健康に 明日を迎えられるように
理不尽に搾取されたり、だまされたりしないように
犯罪に巻き込まれたり、その加担者にならないように
ネット上でプライバシーを晒されたり、無用な誹謗中傷を受けたりしないように
そして、自分自身を欺き、孤立しないように

1 社会参加…自身の力を生かして自己実現する 社会的存在としての自己認識と、社会を切り拓く力

高等学校における日本語指導・外国人生徒等教育の課題

課題3 外国人生徒等の社会参画・キャリア支援の充実

『手引』p.13より

高等学校の出口である進学・就職は、生徒にとっては社会参画のスタートともなります。生徒の**キャリア形成**を念頭に地域の**社会・産業構造**、**就業・進学の仕組み**などの**具体的な学習**とともに、**社会的存在として自己認識を形成**する教育を行います。

キャリア:人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見だしていく連なりや積み重ね

キャリア教育:一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

(文部科学省の定義)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm

キャリア発達…ライフキャリアの視点で

- ・生涯にわたる**長期的なプロセス**・**社会との相互作用**
(社会の一員として主体的に生きる)
- ・**自己の能力を開拓**し自分らしい生き方を実現
- ・自己認識と社会的認識の統合による**自己理解**

参考 高等学校段階のキャリア・発達課題

文部科学省 『高等学校キャリア教育の手引き』第2章より

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/11/04/1312817_12.pdf

社会的・職業的自立に必要な「**基礎的・汎用的能力**」を育成する

<全ての学科に共通して育成すべき力の例>

人間関係形成・ 社会形成能力	自己理解・ 自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付けや忍耐力、ストレスマネジメント、主体的な行動力など	情報の理解・選択・処理、本質の理解、原因の追求、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択・行動と改善など

キャリア教育 と職業教育の育成すべき力

キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な**基盤**となる**能力や態度**

職業教育：一定又は**特定の職業**に従事するために必要な**知識、技能、能力や態度**

(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(平成23年1月31日))

1 社会参加…自身の力を生かして自己実現する 社会的存在としての自己認識と、社会を切り拓く力

高等学校の日本語指導・外国人生徒等教育の課題

課題4 多文化共生の実現に向けた市民性の育成への取組 『手引』p.13より

民主的で人々の尊厳が保たれるよりよい社会をつくるために、共生社会の一員として、日本人生徒や地域の市民と共に、**文化的特性を相互に尊重し合う態度**を育成するとともに、**社会を批判的に読み解き**よりよい**社会を切り拓く担い手**となるために**市民性**を育みます。

社会とかかわり働きかけながら、社会を創り・変えていく力を育むための
活動の要素 『ガイドライン』p.57

- A) 実際の社会とのつながりを促していくこと
- B) **知るだけではなく、実際に考え、自分の意見を言葉にしていくこと**
- C) その社会における正規メンバーの一員として認められること
- D) マジョリティとマイノリティの力関係に変化を起こしていくこと

この要素を加え、ことばの面での具体的な目標を設定することにより、ことばの力の発達も促せる。

参考 市民性教育…社会化・主体化

若槻健(2021)「日本の市民性教育は若者をどのように包摂しようとしているのか」
『日本学習社会学会年報』第17号 pp.5-8

学習指導要領の鍵となる概念「**社会に開かれた教育課程**」

≡ 社会の一員となるための教育(=市民性教育)の可能性

市民性教育は「社会化」と「主体化」で見意味づけられる

⇔「資格化」:知識・技能の獲得、個人の自己実現

・秩序との一体化・所与の社会構造を維持(社会化)

・所与の社会の在り方を問い直し新たな秩序形成(主体化)

排除された人々の声を聞き公共の議論に付す
多様性を含んだ地域社会づくり・自己の再構成

市民性が「身に着けるもの」ではなく、「**発揮するもの**」であるとすれば、市民性を発揮できる学習環境を整えることが何よりも大切になる。**失敗を重ねながらも社会と関わり**(市民性の発揮)、**課題解決の経験を積む**ことで、整わない環境でも市民性を発揮することができるようになるだろう。(p.8)

2 様々な教育活動で 社会参加のためのことばの力を育む

指導計画（「特別の教育課程」を編成する場合は「個別の指導計画」として）

日本語指導の他、進路・キャリア教育、また、教科等の学習で、「社会との相互作用」で生じる問題・課題を批判的に理解し、その解決のために「社会に関わり続ける」ため力として、ことばの力も高める機会に。

外国人生徒等への支援・指導		
履修計画	個別の指導計画	「特別の教育課程」による日本語の取り出し指導・放課後などの日本語指導
		外国人生徒等を対象にした日本語等に関する学校設定科目
		教科の取り出し指導・教科の授業への入り込み指導
	進路指導・キャリア教育、母語母文化教育、多文化共生・社会活動参加への支援	
		教科等の授業

参考 キャリア・市民性教育の活動例

『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』より

タイプ	頁	実施校・団体	事例
キャリア教育	79	都立一橋高等学校 (定時制)	大学・NPOと連携し、大学生や社会人と交流しながら、ライフマップを作成する。
	80	岐阜県立東農高等学校	企業やNPO団体と交流・訪問し、その「課題」の解決案を提案をする。
	82	NPO法人みんなのおうち	バーガーショップとの連携によるインターンシップ
異文化間教育	90	認定NPO法人カタリバ	校則をみんなで考える
市民性教育	92	大阪府立大阪わかば高等学校	「現代の国語」「言語文化」の授業において検討したことを基に、区長や地域の代表者との話し合いを実施。
	93	都立小山台高等学校 (定時制)	学校設定科目「市民科」で、ファミリーヒストリーを語り、地域住民にインタビュー

事例 幼稚園でのインターンシップで

石下紫峰高等学校 佐藤紘司先生（2023年度研修における報告より）

https://kodomonihongo.u-gakugei.ac.jp/.assets/M23_kenshu05_ishigeshiho-164239b6c0.pdf

スマホアプリや翻訳機ではダメなのか？

- 機器を持ち歩けない
- 翻訳の表現がかたい
- 検索の仕方が難しい



笑顔で優しく…

× Shut up! (ダメレ!)

○ Be quite! (静かに!)



幼稚園・保育園の先生方の感想（お褒めの感想）

話しかけた子どもがより耳を傾けるような姿になった気がします

文字の大きさがちょうどよい

しっかりした用紙で出来ているので、職員で回して見てもすぐに破れたりせず、丈夫そう

保育所で使いそうな言葉をよく考えてくれている

とても大変な作業だったと思いますが、困っている人たちに役立つ取り組みだと思っています。ここから、2歩3歩と続くことを応援したいと思います

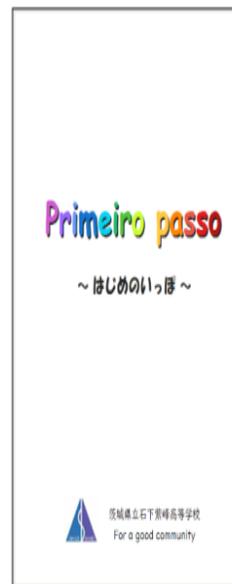
教員がポルトガル語を話そうとする姿に対して、保護者が嬉しい様子だった

未来ある生徒さんたち、18日のプレゼン頑張ってください！



幼稚園で使われそうな言語を翻訳したテキスト作成

→ 本校の生徒が、園児向けに日本語含めて9言語翻訳



16	katazuke masyō 片付けましょう	マグ リニス タヨ mag linis tayo
17	te wo araimasyō 手を洗いましょう	マグ フガス タヨ ナン カマイ mag hugas tayo nang kamay
18	ha wo migakimasyō 歯をみがきましょう	マグ トゥースブラシ タヨ mag toothbrush tayo
19	toire ni ikimasyō トイレに行きましょう	プンタ タヨ サトイレット punta tayo sa toilet

質問文は返答が聴き取れないため
指示フレーズを多くした

事例 幼稚園でのインターンシップで

石下紫峰高等学校 佐藤紘司先生（2023年度研修の報告より）

https://kodomonihongo.u-gakugei.ac.jp/.assets/M23_kenshu05_ishigeshiho-164239b6c0.pdf

<教育・学習活動>

キャリア教育の一環としての
近隣の幼稚園でのインターンシップ

<社会との相互作用>

多文化化する幼稚園での教育・保育の補助
自身の母語を活かした支援リソースの開発

<学び・育まれた力>

居住地域の多文化・多言語化の実態の把握
自身がもつ母語等の言語の力と

その言語の社会的価値への気づき

幼稚園が期待する園児の行動・規範の理解

外国人保護者の養育・教育におけるの困難の理解

ことばの力も

- 教師が子どもに働きかける時の日本語表現
- 翻訳を通じて日本語と母語の意味・運用ルール
- 冊子作成（リソース開発）の経験から、ジャンルによる表現の使い分け等のスキル

3 日本語「プログラムD(プロジェクト活動)」で社会参加のためのことばの力を育む

プログラムA「生活
来日後の日本で
ラム。日本語を使

プログラムB「日本
日本語の基礎的

ことをねらいとする。日本語基礎は日本語の学習経験がない生徒をⅠ→Ⅱ→Ⅲと積み上げて学ぶように構成されている。

プログラムC「技能別日本語」

まとまりのある内容の文章・談話を聞いたり、話したりする力、そして、読んだり書いたりする力、を高めるプログラム。タスク(課題)を設定し、そのタスクを遂行するプロセスで、学習した日本語の基礎的な構造・意味・機能に関する知識を活性化し運用することを促す。

プログラムD「日本語プロジェクト」

外国人生徒が共生社会の一員として自己を実現し、よりよい社会をつくるために、実際に問題・課題を解決する活動(プロジェクト)を通して、思考し、判断し、表現するためのことばの力を高めることをねらいとする。

プログラムA・B・Cを通じて獲得した言語知識・技能を、プログラムDで、社会的活動に参加するためのプロジェクト活動の実施を通して、「自己の可能性に気づき」「持続的に自身の力を開発していく力」「社会に働きかけ社会を変えていく力」とともに、ことばの力を育む

事例 日本語指導「課題解決型学習」(プログラムDタイプ)

愛知県立御津あおば高等学校 五十嵐恵美先生・植竹あや先生
(2023年 文科省委託事業シンポジウム報告より)

https://kodomonihongo.u-gakugei.ac.jp/.assets/M23_sympo_hokoku_mitoaoba.pdf

(3) 日本語 IB【課題解決型学習】

学習の流れ

- ①語彙の導入
- ②トピックについて考えさせる質問をする。
- ③自分の考えを書く。(紙、PPT)
- ④全員の前で発表する。



実際に生徒が考えた「技術革新」

- ①MRI (磁気共鳴画像診断) の洋服をつくる。
機械に入らなくても、より簡単に検査が受けられる。
- ②レントゲン機器を証明写真のように街中に設置する。
コロナやインフルエンザの検査を簡単に受けられる場所を、市役所や街中に設置する。
- ③水 (海水) で走る自動車をつくる。
海水を動力とする自動車を作れば、地球にも環境にもやさしい。

授業スライド
さんぎょう ぎじゆつかくしん きばん
産業と技術革新の基盤をつくろう

【技術革新】新しい組み合わせが
生まれること。



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



【授業スライドのURL】
<https://youtu.be/pqQYamNPQs>

授業スライド
もくひょう
目標

よなか
-世の中のためになる
あたら ぎじゆつ
新しい技術を考える。



事例 日本語指導「課題解決型学習」(プログラムDタイプ)

愛知県立御津あおば高等学校 五十嵐恵美先生・植竹あや先生
(2023年 文科省委託事業シンポジウム報告より)

https://kodomonihongo.u-gakugei.ac.jp/assets/M23_sympto_hokoku_mitoaoba.pdf

<教育・学習の場>

「特別の教育課程」日本語指導の授業

<社会との相互作用>

異なる国・地域での生活経験をもつクラスメイトと

SDGsをテーマに問題を分析し、自身が描いた未来の社会に関して意見交換

<学び・育まれた力>

ことばの力	プロジェクトの内容に関して
<ul style="list-style-type: none">・関心がある問題に関する資料を取捨選択する力・特定の領域の施文的な内容を含む資料を読む力・経験や有する情報が異なる他者にプレゼンテーションするスキル・グループディスカッションで、自身の意見を述べる力	<ul style="list-style-type: none">・SDGsへの着目が必要な現在の状況の理解・出身国・地域の社会的問題の理解・問題について情報を収集し整理するスキル・課題を設定し、その解決方法を探る力・事態の推移を予測し、創造的に考える力

✿ 日本語指導の質的改善の必要性

『手引』 p.13

課題2 計画的組織的な指導・支援による日本語指導の質的改善

日本語指導及び教科学習支援を、高等学校の様々な教育活動・学習体験と関連付け、生徒の置かれている状況に応じて、**問題の解決や課題の達成により自己実現するための力を育む教育**を行う。そのために、**生徒一人ひとりの実態の把握を適正に行い、個々のニーズに応じて指導計画を設計し実施する**。さらに、定期的に学習評価を実施し、計画、実践、評価、改善を重ねながら実施する仕組みをつくる。

特に、日本語指導においては、**言語知識・スキルにのみに意識が向けられることなく、また近視眼的な就職や進路の選択支援に終わることなく、母語や母文化等の文化的多様性を発揮しつつ日本語を使って自身の道を切り拓く若者の教育として具現化されることが必要**である。

プログラムD 日本語プロジェクトの活動を考えてみよう！

生徒の一人が、次のような発言をしています。このエピソードを学習の機会ととらえ、日本語プロジェクトの活動を行うなら、どのように計画しますか。

「寿司屋のバイトの募集があったから、電話してみた。バイト希望だって伝えて、面接を申し込もうとしたら、「うちでは外国人はいらない」と言われた。すごく頭にきた。仕返しに、ネットに、店の悪口を書き込んでやりたい！」

	1年	2年	3年	4年
プログラムA「生活のための日本語」				
プログラムB「日本語基礎」	→	→		
プログラムC「技能別日本語」	→	→		
プログラムD「日本語プロジェクト」	→	→	→	→

プロジェクト…教科とのクロスカリキュラムで！

- ◆ ネットトラブル:なぜ「炎上」は起きるのか
- ◆ 労働者の権利:「ブラック企業」では何が起きている？
- ◆ 自立すること:「おとな」のイメージ、18歳から大人？

<タイプB(来日3年、生活言語能力があり、学力・母語は学年相応)の生徒の場合>

1年生で学習した日本語の知識・技能(プログラムB、Cで)を活かし、2年生からは、積極的に、生徒の経験や関心、また、有する力を発揮して社会的な問題・課題に関して、探究し行動するプロジェクト型の学習を実施する。

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構

外国人児童生徒教育 推進ユニット



次の事例の報告で
さらに具体的にイメージを！
そして、
チャレンジのヒントを！

教科の内容を、生徒の経験とこれからを交差させて

教科書の例(抜粋)

キャリア形成・自己認識…「家庭科」「保健」
社会・産業構造の仕組み等の学習…「公共」「情報」

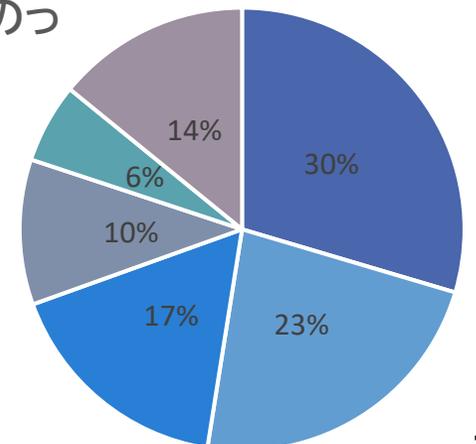
保健 「犯罪から身を守ろう」 (大修館『現代保健体育』p.67より)

犯罪とは、警報などの法律によって禁じられた「行為」で、懲役や罰金などの刑罰の対象となります。犯罪によって、何らかの被害にあった人を「被害者」、被害を加えた人を「加害者と呼びます。

<グラフ>

青少年が注意すべき犯罪SNSに関連して、18歳未満の被害者が被疑者(犯罪の疑いをかけられた者)と会った理由です。青少年が犯罪に巻き込まれるのは、性や金品に関わるが多く、注意が必要です。

- 金品目的
- 優しくかった・相談にのってくれた
- しつこく誘われた
- 性的関係目的
- 暇つぶし
- その他



函館工業高等学校への質問

Q1 ネパールの入学生がいるが、夏の体験スクールで参加してもら
う予定で計画している。

函館工業のこの生徒さんは、JLPTを受けるのでしょうか？

A(前野) JLPTは12月に受験予定。N3で 卒業までにN2・1も目
指したい。

作文を書くプロセスでは、翻訳ソフトを使っている。学生のサ
ポートもあって、「風光明媚」も使っている。意味が分からない
言葉は使わないようにという指導もしている。

コメント 財源の確保ですが、クラウドファンディングを行っては、
いかがでしょうか？